

八千代市上下水道事業経営戦略

前期実施計画

令和元年度取組状況

令和2年9月

八千代市上下水道局

本取組状況は、平成 28 年 3 月に策定した「八千代市上下水道事業経営戦略」に基づき策定した「八千代市上下水道事業経営戦略 前期実施計画【平成 31 年度版】（計画期間：平成 28 年度から令和 2 年度）」に掲げる取組みの実施状況です。

なお、令和 2 年 2 月に、「八千代市上下水道事業経営戦略」を見直し、新たに「第 2 次八千代市水道事業経営戦略」及び「第 2 次八千代市公共下水道事業経営戦略」を策定し、また、同年 6 月に「第 2 次八千代市水道事業経営戦略 実施計画」及び「第 2 次八千代市公共下水道事業経営戦略 実施計画」を策定しました。

このため、令和 2 年度以降の取組状況は、「第 2 次八千代市水道事業経営戦略 実施計画」及び「第 2 次八千代市公共下水道事業経営戦略 実施計画」の取組状況として作成・公表いたします。

目 次

第1章 水道事業編

第1 業務量・財政収支

- 1 業務量の計画と実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 2 財政収支の計画と実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

第2 前期実施計画 取組概要

- 1 取組項目の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

第3 前期実施計画 個別取組み状況

取組み状況の見方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

- 1 基本方針1 水道事業の運営基盤の向上
 - ①水道施設の計画的・効率的な管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
 - ②浄・給水場の統廃合の検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
 - ③定員管理の適正化・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
 - ④民間資金・ノウハウの活用 of 検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
 - ⑤広域化の検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
 - ⑥適正な資金管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
 - ⑦水道料金の見直し・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
 - ⑧手数料の見直し・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
 - ⑨水道事業の広報・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
- 2 基本方針2 安心・快適な給水の確保
 - ①水質管理体制の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
 - ②鉛製給水管の更新・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
 - ③貯水槽の衛生管理指導・・・・・・・・・・・・・・・・・・14

3	基本方針3 災害対策の強化	
	①浄・給水場の耐震化・老朽化対策	15
	②水道管路の耐震化・老朽化対策	16
	③漏水対策の推進	16
	④応急給水用資機材の整備	17
	⑤復旧体制の強化	18
	⑥井戸水の確保	20

第2章 公共下水道事業編

第1 業務量・財政収支

1	業務量の計画と実績	21
2	財政収支の計画と実績	21

第2 前期実施計画 取組概要

1	取組項目の実施状況	23
---	-----------	----

第3 前期実施計画 個別取組み状況

1	基本方針1 公共下水道事業の運営基盤の向上	
	①下水道施設の計画的・効率的な管理	25
	②定員管理の適正化	25
	③民間資金・ノウハウの活用 of 検討	26
	④広域化の検討	26
	⑤適正な資金管理	27
	⑥下水道使用料の検証・検討	28
	⑦災害復旧体制の強化	29
	⑧公共下水道事業の広報	30
2	基本方針2 汚水の適正な処理	
	①汚水施設の整備拡充	31
	②汚水施設の維持管理	31
	③水質規制の指導・監督	33
	④未接続の解消	33
3	基本方針3 浸水対策の強化	
	①雨水施設の整備拡充	34
	②雨水施設の維持管理	36
	③雨水流出抑制策の推進	37

第 1 章
水道事業編

第1 業務量・財政収支

1 業務量の計画と実績

	計 画	実 績	増 減
行政区域人口(A)	199,352 人	200,275 人	923 人
給水人口(B)	197,709 人	198,528 人	819 人
普及率(B/A)	99.2%	99.1%	△0.1%
年間総給水量(C)	18,656,928 m ³	19,036,405 m ³	397,477 m ³
年間総有収水量(D)	18,190,505 m ³	18,332,282 m ³	141,777 m ³
有収率(D/C)	97.5%	96.3%	△1.2%

2 財政収支の計画と実績

①収益的収支 (単位:千円 消費税抜)

	計 画	実 績	増 減
収入(A)	4,042,416	4,134,394	91,978
うち水道料金	3,087,688	3,047,841	△39,847
支出(B)	3,598,007	3,525,301	△72,706
純利益(A-B)	444,409	609,093	164,684

②資本的収支 (単位:千円 消費税込)

	計 画	実 績	増 減
収入(A)	1,285,401	867,319	△418,082
うち企業債	1,061,500	481,800	△579,700
支出(B)	2,780,914	2,335,666	△445,248
うち建設改良費	2,013,781	1,668,533	△345,248
資本的収支不足額(A-B)	△1,495,513	△1,468,347	

③企業債残高 (単位:千円)

	計 画	実 績	増 減
年度末企業債残高	14,432,329	13,452,630	△979,699

④資金残高 (単位:千円)

	計 画	実 績	増 減
年度末保有資金残高	1,564,424	2,786,157	1,221,733

※「八千代市上下水道事業経営戦略 前期実施計画 平成31年度版」の計画との比較となります。

第2 前期実施計画 取組概要

1 取組項目の実施状況

令和元年度は、当該年度の取組項目に掲げていた全32項目のうち、28項目を計画どおり実施し、4項目を計画どおりではありませんが実施しました。

実施状況について

A：計画どおり実施した B：計画どおりではないが実施した C：実施できなかったもの

－：令和元年度における取組みがないもの ※：令和元年度における取組みはないが、実施したのもの

(1) 取組項目一覧表

◆基本方針1 水道事業の運営基盤の向上

取組・施策名, 取組項目	目標値の有無	実施状況	頁
①水道施設の計画的・効率的な管理			
長期的な更新需要	－	A	5
浄・給水場の設備管理台帳の整備・更新	－	A	5
施設の点検・診断マニュアルに基づく点検の実施	－	A	6
管路の計画的な更新	－	B	6
②浄・給水場の統廃合の検討			
統廃合の検討・実施	－	A	7
③定員管理の適正化			
定員管理の適正化	－	A	7
④民間資金・ノウハウの活用の検討			
先進事例の調査・研究	－	A	8
水道施設管理業務委託における業務内容の検討	－	A	8
⑤広域化の検討			
国・県の方針や先進事例の調査・研究	－	A	9
⑥適正な資金管理			
企業債の借入の抑制	有	A	9
期中における資金管理の徹底	－	A	10
⑦水道料金の見直し			
水需要・料金収入・財務状況の確認・分析	－	A	10
用途区分「行政財産用」の廃止 ※平成29年度に完了			
一般用料金の見直し	－	A	11
⑧手数料の見直し			
設計審査・しゅん工検査手数料の見直し	－	A	11

⑨水道事業の広報				
	やちよ上下水道だよりの発行	有	A	12
	水の飲み比べの実施	有	A	12

◆基本方針2 安心・快適な給水の確保

取組・施策名, 取組項目		目標値の有無	実施状況	頁
①水質管理体制の充実				
	水質検査計画に基づく水質検査	—	A	13
	水安全計画の運用	—	A	13
②鉛製給水管の更新				
	取替え工事	有	A	14
③貯水槽の衛生管理指導				
	パンフレット作成・配布	—	A	14
	啓発・指導	有	A	15

◆基本方針3 災害対策の強化

取組・施策名, 取組項目		目標値の有無	実施状況	頁
①浄・給水場の耐震化・老朽化対策				
	村上給水場改良工事	—	A	15
②水道管路の耐震化・老朽化対策				
	石綿セメント管の入れ替え ※平成30年度に完了			
	非耐震管の入れ替え	有	B	16
③漏水対策の推進				
	漏水調査の実施	有	A	16
④応急給水用資機材の整備				
	給水タンクの整備	有	A	17
	非常用給水袋の保管・補充	有	A	17
	給水タンク車の整備	有	B	18
⑤復旧体制の強化				
	災害時を想定とした訓練の実施	—	A	18
	関係機関・事業者との連携強化	—	A	19
	災害マニュアルの見直し・修正	—	A	19
	不断水弁の設置	—	B	20
⑥井戸水の確保				
	井戸施設の点検・管理	—	A	20

第3 前期実施計画 個別取組み状況

取組み状況の見方

年度別実施計画

前期実施計画（平成31年度版）に記載している平成28年度からの実施計画を記載しています。

なお、「平成31年度」は「令和元年度」に、「平成32年度」は「令和2年度」に表記を変更しています。

※平成は「H」、令和は「R」で元号を表記しています。

実施状況

計画どおり実施したものは「A」

計画どおりではないが実施したものは「B」

実施できなかったものは「C」

令和元年度における取組みがないものは「—」

令和元年度における取組みはないが、実施したものは「※」を表示しています。

(例)

取組項目	管路の計画的な更新				
取組目的 内容	令和元年度から行う管路の耐震化工事については、平成30年度に策定した「八千代市水道管路施設耐震化計画」に基づき、計画的に進めます。				
年度別 実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	管路の現況調査 による実耐用年 数の設定			計画的な耐震化 工事の実施	計画的な耐震化 工事の実施
実施状況	A	※	※	B	
R元年度 実施内容	平成30年12月に策定した「八千代市水道管路施設耐震化計画」に基づき、重要給水施設管路及び老朽管の改良工事を実施しました。				
R元年度 目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	
B評価の 理由	八千代市水道管路施設耐震化計画では、令和元年度末における耐震化率を59.6%としていましたが、令和2年度に繰越した工事があることにより、耐震化率の実績値が59.3%となりました。 このため、実施状況をB評価としました。				

目標設定

前期実施計画において数値目標を設定しているものについては、「目標設定」、「目標値」、「実績値」を記載しています。

B及びC評価の理由

実施状況がA評価とならなかった取組みについて、理由を記載しています。

1 基本方針 1 水道事業の運営基盤の向上

①水道施設の計画的・効率的な管理

取組項目	長期的な更新需要				
取組目的・内容	浄・給水場の統廃合を含めた更新計画として平成 30 年度に策定した「八千代市水道施設再構築基本計画」に基づき、施設の更新を進めます。				
年度別実施計画	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
	「八千代市水道事業第 2 次長期基本計画」の見直し	長期的な更新計画・財政収支見通しの作成	八千代市水道施設再構築基本計画の策定	計画の推進	計画の推進
実施状況	A	B	A	A	
R 元年度実施内容	平成 30 年 12 月に策定した「八千代市水道施設再構築基本計画」に基づき、村上給水場施設改良工事に着手しました。				
R 元年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

取組項目	浄・給水場の施設管理台帳の整備・更新				
取組目的・内容	機械設備の管理台帳システムを整備し、更新やデータの管理を行い、資産管理水準の向上を図ります。				
年度別実施計画	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
	施設管理台帳システム整備	台帳システムの更新・データ管理	台帳システムの更新・データ管理	台帳システムの更新・データ管理	台帳システムの更新・データ管理
実施状況	A	A	A	A	
R 元年度実施内容	浄・給水場の運転管理等委託の受託業者において、設備管理台帳システムに入力するデータの収集を行い、台帳内容の充実を図りました。				
R 元年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

取組項目	施設の点検・診断マニュアルに基づく点検の実施				
取組目的・内容	「施設の点検・診断マニュアル」に基づく点検を実施し、老朽化などの状況を確認します。				
年度別 実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	点検の実施	点検の実施	点検の実施	点検の実施	点検の実施
実施状況	A	A	A	A	
R元年度 実施内容	「施設の点検・診断マニュアル」に基づき各施設の点検を行いました。				
R元年度 目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

取組項目	管路の計画的な更新				
取組目的・内容	令和元年度から行う管路の耐震化工事については、平成30年度に策定した「八千代市水道管路施設耐震化計画」に基づき、計画的に進めます。				
年度別 実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	管路の現況調査による実耐用年数の設定			計画的な耐震化工事の実施	計画的な耐震化工事の実施
実施状況	A	※	※	B	
R元年度 実施内容	平成30年12月に策定した「八千代市水道管路施設耐震化計画」に基づき、重要給水施設管路及び老朽管の改良工事を実施しました。				
R元年度 目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	
B評価の理由	八千代市水道管路施設耐震化計画では、令和元年度末における耐震化率を59.6%としていましたが、令和2年度に繰越した工事があることにより、耐震化率の実績値が59.3%となりました。 このため、実施状況をB評価としました。				

② 浄・給水場の統廃合の検討

取組項目	統廃合の検討・実施				
取組目的・内容	施設の更新需要が増加していく中、浄・給水場施設の更新に係る投資の合理化を目的として、施設のダウンサイジングを進めるために、平成 30 年度に策定した「八千代市水道施設再構築基本計画」に基づき、7 つある浄・給水場の統廃合を進めます。				
年度別実施計画	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
	水道施設再構築基本構想の策定	構想に基づく更新計画の見直し	八千代市水道施設再構築基本計画の策定	統廃合の推進	統廃合の推進
実施状況	A	B	A	A	
R 元年度実施内容	将来的な統廃合を考慮した規模による村上給水場施設改良工事【令和 3 年度までの継続事業】に着手しました。				
R 元年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

③ 定員管理の適正化

取組項目	定員管理の適正化				
取組目的・内容	平成 18 年度に行った上下水道事業部門の組織統合以降、事務の効率化などにより、人員の削減を実施してきましたが、今後においても市全体の定員管理計画に基づき、事務事業の見直し、民間委託の拡大や再任用職員の活用などによる定員管理の適正化を進めます。				
年度別実施計画	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
	推進	推進	推進	推進	推進
実施状況	A	A	A	A	
R 元年度実施内容	再任用職員及び臨時的任用職員の活用をしながら、職員の適正配置を行いました。				
R 元年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

④民間資金・ノウハウの活用の検討

取組項目	先進事例の調査・研究				
取組目的・内容	民間委託などの手法の活用が可能である事務事業については、導入を検討し、事務の効率化や事業費の縮減を図り、安定的なサービスを継続します。これまで様々な業務における民間委託の拡大を行ってきましたが、今後も委託業務の拡大を進めるとともに、民間の資金・ノウハウの活用について、先進事例などの調査・研究を行います。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究
実施状況	A	A	A	A	
R元年度実施内容	厚生労働省及び経済産業省が開催した官民連携推進協議会への参加等を通して、他事業体における官民連携導入事例について、情報収集を行いました。				
R元年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

取組項目	水道施設管理業務委託における業務内容の検討				
取組目的・内容	浄水場の施設管理業務委託において、令和3年度からの委託業務内容の拡大について検討します。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	調査・検討	調査・検討	・業務内容の確定 ・仕様書の作成	・仕様書の作成 ・契約方法の確定	委託契約
実施状況	A	A	A	A	
R元年度実施内容	令和2年度の委託契約の更新に向け、委託業務を拡大する方向性を持って、公募型プロポーザル方式に必要な業務要求水準書を作成しました。				
R元年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

⑤広域化の検討

取組項目	国・県の方針や先進事例の調査・研究				
取組目的・内容	本市が受水している用水供給事業者である北千葉広域水道企業団や近隣水道事業者との事業統合による広域化については、具体的な検討に至っておりませんが、長期的な視点から他事業者が進める事業統合・経営統合・施設統合などの事例を注視し、調査・研究を行います。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究
実施状況	A	A	A	A	
R元年度実施内容	<p>県内水道の統合・広域化のリーディングケースとして進められている九十九里・南房総地域の用水供給事業者と県営水道の統合や、千葉県・木更津市・君津市・富津市・袖ヶ浦市・君津広域水道企業団の統合に設置された「かずさ水道広域連合企業団」について情報収集を行いました。</p> <p>また、千葉県が進める水道広域化推進プランの策定に係る説明会に参加するとともに、本市の水道事業に関するデータを県に提出しました。</p>				
R元年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

⑥適正な資金管理

取組項目	企業債の借入の抑制				
取組目的・内容	<p>年々増加する企業債残高を圧縮するために、適正な内部留保資金残高を確保したうえで、企業債の借入れを抑制する必要があります。</p> <p>前期計画期間では、平成30年度までは石綿セメント管の更新に、令和元年度以降は村上給水場改良工事に多額の事業費を要します。平成30年12月に策定した「八千代市水道施設再構築基本計画」に掲げる浄・給水場の統廃合の推進など、投資の合理化等による事業費の抑制に最大限取り組み、それでも資金が不足する場合は料金改定等による財源の確保を行いながら、適正な内部留保資金を確保できるよう、企業債の借入を行います。</p>				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	充当率の上限設定	充当率の上限設定	充当率の上限設定	充当率の上限設定	充当率の上限設定
実施状況	A	A	A	A	
R元年度実施内容	令和元年度における企業債の充当率を43.4%（借入額481,800千円）とし、借入れの抑制に努めました。				
R元年度目標設定	企業債充当率（上限）		目標値	実績値	
			65%	43.4%	

取組項目	期中における資金管理の徹底				
取組目的・内容	<p>期中の資金管理については、上下水道局内の情報共有などにより、事業の執行状況を把握することで、資金管理を徹底し、定期預貯金の預入などによる利息の獲得と企業債の借入日の調整をすることによる支払利息の低減を図ります。</p>				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	・定期預金の利息の獲得 ・企業債利息の低減	・定期預金の利息の獲得 ・企業債利息の低減	・定期預金の利息の獲得 ・企業債利息の低減	・定期預金の利息の獲得 ・企業債利息の低減	・定期預金の利息の獲得 ・企業債利息の低減
実施状況	A	A	A	A	
R元年度実施内容	<p>定期預金については、事業担当課との情報共有により資金の動きを詳細に分析した上で、可能な限り長期の預入を行いました。預入先の選定は、各金融機関から利率の見積を徴収し、経営の安全性が確認された中で最も高い利率を提示した金融機関としました。</p> <p>また、企業債利息の低減を図るため、借入れの金利方式について検討を行いました。</p>				
R元年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

⑦水道料金の見直し

取組項目	水需要・料金収入・財務状況の確認・分析				
取組目的・内容	<p>水道料金の収入状況や財務状況の確認・分析により、料金見直し(改定)の時期や改定内容について検討を行います。</p>				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	確認・分析	確認・分析	確認・分析	確認・分析	確認・分析
実施状況	A	A	A	A	
R元年度実施内容	<p>メータ検針等に基づく調定水量及び水道料金について、業態別の分析を行うとともに、前年度の決算状況により財務状況の確認を行いました。</p> <p>また、経営の健全化を図るため、令和元年10月1日に平均改定率8.57%の値上げを実施しました。</p>				
R元年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

取組項目	一般用料金の見直し				
取組目的・内容	今後の施設の耐震化・老朽化対策への事業費の増加に対応するため、投資の合理化・効率化や経費の節減などを進めていきますが、それでもなお投資・財政計画において資金不足が生じることが避けられないため、水道事業の根幹をなす水道料金の見直しを実施する必要があります。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	・財務状況等の分析 ・料金体系の検討	・財務状況の分析 ・料金体系の検討 ・審議会での審議	・財務状況の分析 ・料金体系の検討 ・審議会での審議 ・議会への上程	料金の見直しの実施	見直し後の検証
実施状況	A	C	A	A	
R元年度実施内容	令和元年度から令和5年度までの5年間の財政収支見通しを基に料金体系の見直しを行いました。 八千代市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について、平成31年八千代市市議会第1回定例会へ上程し、可決され、令和元年10月1日に平均改定率8.57%の値上げを実施しました。				
R元年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

⑧手数料の見直し

取組項目	設計審査・しゅん工検査手数料の見直し				
取組目的・内容	利用者の負担の適正化と収入の確保を目的として、給水装置工事に係る設計審査・しゅん工検査手数料を見直し、定期的に事務コストの検証を行い、必要に応じて手数料の見直しの検討を行います。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	・審議会への諮問 ・議会への上程	手数料の改定		事務コストの検証	
実施状況	A	A	—	A	
R元年度実施内容	八千代市使用料・手数料設定ガイドラインに基づき、手数料額の検証を行いました。				
R元年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

⑨水道事業の広報

取組項目	やちよ上下水道だよりの発行 ※前期実施計画（平成 31 年度版）で追加				
取組目的・内容	水道は市民にとって最も身近なライフラインの一つであるため、各種計画の策定・実施状況、料金に関することなどの重要事項の周知を図るとともに、安心して水道水をご利用いただけるよう、水道水の安全性やおいしさについて、「やちよ上下水道だより」により広報を行います。				
年度別実施計画	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
				発行	発行
実施状況				A	
R 元年度実施内容	令和元年 6 月 1 日と令和 2 年 3 月 1 日に「やちよ上下水道だより」を発行し、水道料金の改定、令和元年度に実施する主な事業、水道水のおいしさや安全性・経済性、水道メータの見方（漏水の確認方法）、災害時への備え等について掲載しました。				
R 元年度目標設定	発行回数		目標値		実績値
			年 2 回		年 2 回

取組項目	水の飲み比べの実施 ※前期実施計画（平成 31 年度版）で追加				
取組目的・内容	毎年実施している八千代市総合防災訓練において、水道水と市販のペットボトル水の飲み比べを実施し、水道水のおいしさを PR します。				
年度別実施計画	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
				実施	実施
実施状況				A	
R 元年度実施内容	令和元年 9 月 1 日に実施された八千代市総合防災訓練において、勝田台小学校で水道水と市販のペットボトル水の飲み比べを行い、水道水のおいしさを PR しました。				
R 元年度目標設定	実施回数		目標値		実績値
			年 1 回		年 1 回

2 基本方針 2 安心・快適な給水の確保

①水質管理体制の充実

取組項目	水質検査計画に基づく水質検査				
取組目的・内容	水道法 20 条で定められている定期水質検査を行い、必要があれば臨時の水質検査も行います。検査地点は水源、浄水場着水井、浄・給水場の出口及び水道法に基づく検査地点である末端給水栓とし、検査結果を公表することにより水質検査の透明性を確保します。				
年度別実施計画	H28 年度 実施・公表	H29 年度 実施・公表	H30 年度 実施・公表	R 元年度 実施・公表	R2 年度 実施・公表
実施状況	A	A	A	A	
R 元年度実施内容	平成 30 年度末に策定・公表した水質検査計画に沿って、法令等で義務付けられた定期検査を実施することにより、水の安全性及び清浄な水の供給を確認し、水道利用者へ検査結果の情報提供を行いました。				
R 元年度目標設定	—		目標値 —	実績値 —	

取組項目	水安全計画の運用				
取組目的・内容	平成 25 年度に策定した「八千代市水道事業水安全計画」を運用し、毎年度評価を実施し、水源から蛇口までにおけるリスクの管理を進め、安全な水道水を供給します。				
年度別実施計画	H28 年度 評価・見直し	H29 年度 評価・見直し	H30 年度 評価・見直し	R 元年度 評価・見直し	R2 年度 評価・見直し
実施状況	A	A	A	A	
R 元年度実施内容	前年度に開催したレビュー（見直し）を反映した水安全計画の改訂を行いました。 また、上下水道局職員から成る水安全計画推進委員を推進役とし、計画に沿って実行した内容について、年度末にレビューを開催し、実施状況の検証や情報共有を行いました。				
R 元年度目標設定	—		目標値 —	実績値 —	

②鉛製給水管の更新

取組項目	取替え工事				
取組目的・内容	安全な水道水の供給と漏水防止のため、既設の鉛製給水管からポリエチレン管への取替え工事を行います。また、配水管の耐震化工事と合わせた施工を行い、平成30年度までに完了します。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	実施	実施	実施	実施(完了)	
実施状況	A	A	B	A	
R元年度実施内容	鉛製給水管について、30個の取替え工事を行いました。 なお、残存する鉛製給水管については、掘削の同意が得られず残っている老朽管(配水管)に付随しているものであるため、今後、同意が得られ次第、取替えを行います。				
R元年度目標設定	取替え個数		目標値	実績値	
			40個	30個	

③貯水槽の衛生管理指導

取組項目	パンフレット作成・配布				
取組目的・内容	小規模貯水槽(10 m ³ 以下)を設置している建物の管理者に対し、適正な維持管理を促すため、啓発・指導用のパンフレットを作成・配布します。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	内容検討	作成 (500部)	配布	配布	配布
実施状況	A	A	A	A	
R元年度実施内容	小規模貯水槽の設置者・管理者に対し、パンフレットの配布を行いました。また、上下水道局窓口にパンフレットを置くとともに、ホームページにも掲載し、市民や工事事業者に閲覧していただけるようにしました。				
R元年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

取組項目	啓発・指導				
取組目的・内容	清浄な飲料水の確保を図るため、小規模貯水槽（10 m ³ 以下）を設置している建物の管理者に対し、適正管理について啓発・指導を行います。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	実施（ホームページ・広報誌等による啓発）	実施	実施	実施	実施
実施状況	A	B	A	A	
R元年度実施内容	作成したパンフレットを活用し、小規模貯水槽の設置者・管理者に対し、現地立会いのもと、適正な管理を行っていただけるよう指導を行いました。				
R元年度目標設定	訪問件数	目標値		実績値	
		50件		54件	

3 基本方針3 災害対策の強化

① 浄・給水場の耐震化・老朽化対策

取組項目	村上給水場改良工事				
取組目的・内容	市内7か所の浄・給水場については、昭和40年代から50年代に整備されたものが多く、経年による老朽化が進み、現在、大規模な改良工事を順次行っています。改良工事とともに、施設の耐震化を進めることにより、災害に強い施設をめざします。老朽化が著しい村上給水場について、配水池の耐震化や電気設備の更新を行います。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
		実施設計	実施設計	改良工事 ・配水池の耐震化 ・電気設備の更新	改良工事 ・配水池の耐震化 ・電気設備の更新
実施状況	—	B	A	A	
R元年度実施内容	令和3年度までの継続事業として、村上給水場施設改良（土木・建築）工事及び、村上給水場施設改良（機械・電気）工事に着手しました。				
R元年度目標設定	—	目標値		実績値	
		—		—	

②水道管路の耐震化・老朽化対策

取組項目	非耐震管の入れ替え				
取組目的・内容	耐震化されていない水道管を地震に強い耐震型ダクタイル鋳鉄管（GX型）へ入れ替えることにより、地震などの災害時において、安定的な給水を維持することができます。平成30年度に策定年度に策定した「八千代市水道管路施設耐震化計画」に基づき、非耐震管を耐震管へ入れ替える工事を進めます。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	—	—	実施設計	更新工事	更新工事
実施状況	※	※	A	B	
R元年度実施内容	重要給水施設管路及び老朽管の改良工事を6,994.4m実施しました。				
R元年度目標設定	水道管路の耐震化率		目標値	実績値	
			59.6%	59.3%	
B評価の理由	令和2年度に繰越した工事があることにより、耐震化率は目標値を下回りました。 このため、実施状況の評価をBとしました。				

③漏水対策の推進

取組項目	漏水調査の実施				
取組目的・内容	計画的に漏水調査を行い、早期に修繕することで無効水量（漏水などにより損失した水量）の軽減を図ります。また、早期に発見し修繕することにより、道路陥没などの2次災害を防止します。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	調査の実施	調査の実施	調査の実施	調査の実施	調査の実施
実施状況	A	A	A	A	
R元年度実施内容	計画に沿った調査地区5,154件の漏水調査を実施し、7件の漏水を発見し、漏水箇所の修繕を行いました。				
R元年度目標設定	調査区域		目標値	実績値	
			八千代台東・南地区	八千代台東・南地区	
	調査予定件数		5,000件	5,154件	

④ 応急給水用資機材の整備

取組項目	給水タンクの整備				
取組目的・内容	災害時の応急給水活動に備えるために、平成30年度末時点で、給水タンクを23基、組立式給水タンクを8基保有しています。令和元年度以降においても、必要に応じて購入を行っていきます。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	購入	購入	保有	保有	保有
実施状況	A	A	A	A	
R元年度実施内容	組立式給水タンク(1m ³)を3基購入(老朽化した給水タンク(1m ³)を3基買い替え)しました。 令和元年度末時点で、給水タンク(2m ³)を17基、(1m ³)を3基保有し、また、組立式給水タンク(1m ³)を11基保有しました。				
R元年度目標設定	給水タンクの保有数		目標値	実績値	
			<ul style="list-style-type: none"> 給水タンク(2m³) 17基 (1m³) 3基 組立式給水タンク(1m³) 11基 	<ul style="list-style-type: none"> 給水タンク(2m³) 17基 (1m³) 3基 組立式給水タンク(1m³) 11基 	

取組項目	非常用給水袋の保管・補充				
取組目的・内容	非常用給水袋(60)を備蓄し、現状で保管している水準の15,000枚以上を常に確保します。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	備蓄・補充	備蓄・補充	備蓄・補充	備蓄・補充	備蓄・補充
実施状況	A	A	A	A	
R元年度実施内容	60用の非常用給水袋を3,000枚購入し、令和元年度末時点で17,000枚を備蓄しています。 なお、台風により被害のあった多古町へ、非常用給水袋1,400枚を提供しました。提供後、多古町より協定に基づく費用負担があったことから、令和2年度に補充を予定しています。				
R元年度目標設定	給水袋保管数		目標値	実績値	
			18,000枚	17,000枚	

取組項目	給水タンク車の整備 ※前期実施計画（平成30年度版）で追加				
取組目的・内容	給水タンク車について、平成30年度末時点で1台保有していますが、令和元年度に1台購入し、計2台を保有します。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
実施状況			保有	購入	保有
R元年度実施内容	2 m ³ 積載の給水タンク車について、令和3年3月までの納期で、購入契約を行いました。				
R元年度目標設定	給水タンク車の保有数	目標値		実績値	
		2台		1台	
B評価の理由	<p>平成31年4月に入札を行ったところ、需要が多く当初予定していた期限内の納入が困難であるとの理由から、入札不調となりました。</p> <p>その後、令和3年3月の納期設定で再度、入札を行い、契約を締結しましたが、年度内の給水タンク車の保有数は1台となりました。</p> <p>このため、実施状況をB評価としました。</p>				

⑤復旧体制の強化

取組項目	災害時を想定とした訓練の実施				
取組目的・内容	大地震などによる被災を想定した応急給水訓練や復旧訓練を継続的にを行います。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
実施状況	A	A	A	A	
R元年度実施内容	上下水道局防災訓練を令和元年7月に実施し、また、八千代市災害対応訓練を令和2年1月に実施しました。地震発生による浄水場の停電、断水、濁り水の発生を想定し、応急復旧及び応急給水訓練を実施しました。				
R元年度目標設定	—	目標値		実績値	
		—		—	

取組項目	関係機関・事業者との連携強化				
取組目的・内容	他の水道事業者や水道工事事業者と共同での訓練実施などにより、連携の強化を図ります。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	・災害応援協定の確認・見直し ・共同での訓練の実施	・災害応援協定の確認・見直し ・共同での訓練の実施	・災害応援協定の確認・見直し ・共同での訓練の実施	・災害応援協定の確認・見直し ・共同での訓練の実施	・災害応援協定の確認・見直し ・共同での訓練の実施
実施状況	A	A	A	A	
R元年度実施内容	<p>平成31年4月に、千葉県主催により「千葉県内水道災害時対処要領」に基づいた情報伝達訓練を実施しました。</p> <p>令和元年7月に実施した上下水道局防災訓練において、関係事業者と共同での訓練を実施しました。</p> <p>令和2年1月に、「日本水道協会関東地方支部 応援要請等情報伝達訓練」を実施しました。</p>				
R元年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

取組項目	災害マニュアルの見直し・修正				
取組目的・内容	災害マニュアルなどを適宜見直し、修正を行っていきます。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	見直し・修正	見直し・修正	見直し・修正	見直し・修正	見直し・修正
実施状況	A	A	A	A	
R元年度実施内容	災害マニュアルについて、厚生労働省が策定しているマニュアル案に基づき、見直しを行いました。				
R元年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

取組項目	不断水弁の設置 ※前期実施計画（平成 30 年度版）で追加				
取組目的・内容	災害時に送水管が破損した場合への対策として、不断水工法により仕切弁を設置し、給水能力の向上を図ります。				
年度別実施計画	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
実施状況			不断水弁の設置	不断水弁の設置	不断水弁の設置
R 元年度実施内容	平成 30 年度から繰越した、大和田新田 446 番地先送水管不断水仕切弁 φ 800 設置工事を完了しました。 また、米本浄水場前送水管不断水仕切弁 φ 500 設置工事を発注しました。				
R 元年度目標設定	—		目標値	実績値	
B 評価の理由			—	—	
	米本浄水場前送水管不断水仕切弁 φ 500 設置工事について、台風等の災害の影響により材料の製作に時間を要したため、令和 2 年度に工事を繰越しました。 このため、実施状況の評価を B としました。				

⑥井戸水の確保

取組項目	井戸施設の点検・管理				
取組目的・内容	災害時などにおいても安全で安心できる水道水を供給するために、自己水源である井戸水の保全を図ります。				
年度別実施計画	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
実施状況	A	A	A	A	
R 元年度実施内容	水道施設管理業務委託において日常点検を行い、不具合箇所について適時修繕を行いました。また、揚水機が故障した萱田 3 号井戸について修繕を行い、揚水を再開しました。 井戸水の水質検査については予定どおり実施し、水源として良質な水質であることを確認しました。				
R 元年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

第2章

公共下水道事業編

第1 業務量・財政収支

1 業務量の計画と実績

	計 画	実 績	増 減
行政区域人口(A)	199,352 人	200,275 人	923 人
整備区域内人口(B)	183,382 人	185,057 人	1,675 人
水洗化人口(C)	182,214 人	183,497 人	1,283 人
普及率(B/A)	92.0%	92.4%	0.4%
水洗化率(C/B)	99.4%	99.2%	△0.2%
年間総汚水処理量(D)	20,916,423 m ³	20,238,074 m ³	△678,349 m ³
年間総有収水量(E)	17,235,133 m ³	17,237,746 m ³	2,613 m ³
有収率(E/D)	82.4%	85.2%	2.8%

2 財政収支の計画と実績

①収益的収支

(単位:千円 消費税抜)

	計 画	実 績	増 減
収入(A)	3,384,729	3,296,801	△87,928
うち下水道使用料	2,187,219	2,176,148	△11,071
支出(B)	3,314,261	3,134,946	△179,315
純利益/損失(A-B)	70,468	161,855	91,387

②資本的収支

(単位:千円 消費税込)

	計 画	実 績	増 減
収入(A)	1,560,077	1,531,515	△28,562
うち企業債	768,500	594,100	△174,400
うち国庫補助金	556,278	591,518	35,240
支出(B)	2,295,416	2,381,633	86,217
うち建設改良費	1,623,751	1,710,569	86,818
資本的収支不足額(A-B)※	△735,339	△924,630	

※実績の値は、資本的収入(A)から、翌年度へ繰越される支出の財源充当額 74,512 千円を控除しています。

③企業債残高

(単位:千円)

	計 画	実 績	増 減
年度末企業債残高	8,652,608	8,145,809	△506,799

④資金残高

(単位:千円)

	計 画	実 績	増 減
年度末保有資金残高	1,229,723	1,424,804	195,081

※「八千代市上下水道事業経営戦略 前期実施計画 平成31年度版」の計画との比較となります。

第2 前期実施計画 取組概要

1 取組項目の実施状況

令和元年度は、当該年度の取組項目に掲げていた全24項目のうち、22項目を計画どおり実施し、2項目を計画どおりではありませんが実施しました。

また、令和元年度の取組み計画としていなかった1項目について、実施しました。

実施状況について

A：計画どおり実施した B：計画どおりではないが実施した C：実施できなかったもの

－：令和元年度における取組みがないもの ※：令和元年度における取組みはないが、実施したもの

(1) 取組項目一覧表

◆基本方針1 公共下水道事業の運営基盤の向上

取組・施策名, 取組項目	目標値の有無	実施状況	頁
①下水道施設の計画的・効率的な管理			
管路施設の調査 ※平成28年度に完了			
ストックマネジメント計画に基づく改築・修繕の実施	－	A	25
②定員管理の適正化			
定員管理の適正化	－	A	25
③民間資金・ノウハウの活用の検討			
委託の拡大等の検討	－	A	26
先進事例の調査・研究	－	A	26
④広域化の検討			
広域化事例の調査・研究	－	A	26
⑤適正な資金管理			
適正な内部留保資金の確保	有	A	27
期中における資金管理の徹底	－	A	27
⑥下水道使用料の検証・検討			
前年度決算に基づく水需要・料金収入・財務状況の確認・分析	－	A	28
上下水道事業運営審議会への報告	－	A	28
⑦災害復旧体制の強化			
災害時を想定とした訓練の実施	－	A	29
下水道BCPの運用	－	A	29
⑧公共下水道事業の広報			
やちよ上下水道だよりの発行	有	A	30

◆基本方針2 汚水の適正な処理

取組・施策名, 取組項目	目標値の有無	実施状況	頁
①汚水施設の整備拡充			
吉橋工業地域内における汚水管渠整備	有	A	31
②汚水施設の維持管理			
管渠・マンホールポンプの維持管理	有	A	31
不明水対策	有	A	32
ポンプ場機械修繕	—	※	32
③水質規制の指導・監督			
特定事業場の立入調査	有	A	33
④未接続の解消			
未接続世帯への個別訪問	有	A	33

◆基本方針3 浸水対策の強化

取組・施策名, 取組項目	目標値の有無	実施状況	頁
①雨水施設の整備拡充			
八千代1号幹線浸水対策（調整池の整備）	—	B	34
八千代1号幹線浸水対策（管渠の整備）	—	A	34
上高野地区雨水排水整備工事	—	B	35
萱田南第1排水区雨水排水整備	—	A	35
大和田新田地区雨水排水整備	—	—	35
大和田地区雨水排水整備	—	—	36
花輪排水区雨水排水整備	—	—	36
②雨水施設の維持管理			
水路の浚渫作業	有	A	36
調整池の維持管理	有	A	37
③雨水流出抑制策の推進			
開発行為などによる民間事業における雨水の流出抑制	—	A	37

第3 前期実施計画 個別取組み状況

1 基本方針1 公共下水道事業の運営基盤の向上

①下水道施設の計画的・効率的な管理

取組項目	ストックマネジメント計画に基づく改築・修繕の実施				
取組目的・内容	<p>永続的に安定的なサービスを持続させるために、施設の現状を分析するとともに、今後、標準耐用年数 50 年を迎える下水道施設が増加してくることから、将来の更新需要を的確に把握し、長期的な視点から施設を管理していきます。既存データの整理などにより、ストックマネジメント手法を踏まえた改築・修繕計画を策定し、それに基づき改築・更新などを行っていきます。</p>				
年度別実施計画	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
	既存資料の収集・調査	既存資料の収集・調査	ストックマネジメント計画の策定	ストックマネジメント計画の策定	実施設計委託の実施
実施状況	A	A	A	A	
R 元年度実施内容	<p>八千代市公共下水道事業ストックマネジメント計画策定業務を行い、平成 30 年度に作成した実施方針と合わせて「八千代市下水道ストックマネジメント計画」を策定しました。</p>				
R 元年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

②定員管理の適正化

取組項目	定員管理の適正化				
取組目的・内容	<p>平成 18 年度に行った上下水道事業部門の組織統合以降、事務の効率化などにより、人員の削減を実施してきましたが、今後においても、八千代市全体の定員管理計画に基づき、事務事業の見直し、民間委託の拡大や再任用職員の活用などによる定員管理の適正化を進めます。</p>				
年度別実施計画	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
	推進	推進	推進	推進	推進
実施状況	A	A	A	A	
R 元年度実施内容	<p>再任用職員及び臨時的任用職員の活用をしながら、職員の適正配置を行いました。</p>				
R 元年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

③民間資金・ノウハウの活用の検討

取組項目	委託の拡大等の検討				
取組目的・内容	民間委託などの手法の活用が可能である事務事業については、導入を検討し、事務の効率化や事業費の縮減を図り、安定的なサービスを継続します。また、類似する業務の集約化が可能か検討を行います。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	対象業務の調査	仕様・発注方法の検討	仕様・発注方法の検討	仕様・発注方法の検討	・仕様・発注方法の検討 ・委託業務の発注
実施状況	A	A	A	A	
R元年度実施内容	管渠施設の維持管理業務委託の一部をポンプ場施設維持管理業務委託に集約すること及び、その仕様について検討を行いました。				
R元年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

取組項目	先進事例の調査・研究				
取組目的・内容	官民連携手法の先進事例などの調査・研究を行います。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究
実施状況	A	A	A	A	
R元年度実施内容	他事業体における包括委託の実施状況など、官民連携導入事例の情報収集を行いました。				
R元年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

④広域化の検討

取組項目	広域化事例の調査・研究				
取組目的・内容	本市は、千葉県が管理する印旛沼流域下水道の終末処理場において、他の事業体と共同で汚水処理を行なっていますが、それ以外の事業統合については、具体的な検討に至っていません。しかしながら、他の事業体が進める事例を注視し、調査・研究を行います。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究
実施状況	A	A	A	A	
R元年度実施内容	千葉県が主催する汚水処理の広域化・共同化計画の策定に向けた検討会及び勉強会への参加を通じて、調査・研究を行いました。				
R元年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

⑤適正な資金管理

取組項目	適正な内部留保資金の確保				
取組目的・内容	平成 27 年度に行った下水道使用料の見直し（改定）により、経営状況は改善傾向を見込んでいますが、過去の赤字経営により資金が枯渇していることから、前期計画期間においては内部留保資金の確保を図ります。				
年度別実施計画	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
	計画的・効率的な事業運営による資金の確保	計画的・効率的な事業運営による資金の確保	計画的・効率的な事業運営による資金の確保	計画的・効率的な事業運営による資金の確保	計画的・効率的な事業運営による資金の確保
実施状況	A	A	A	A	
R 元年度実施内容	施設の維持管理費の減少により、内部留保資金残高は目標値を上回りました。				
R 元年度目標設定	内部留保資金残高	目標値		実績値	
		1, 229, 723 千円		1, 424, 804 千円	

取組項目	期中における資金管理の徹底				
取組目的・内容	期中の資金管理については、上下水道局内の情報共有などにより、事業の執行状況を把握することで、資金管理を徹底し、定期預貯金の預入などによる利息の獲得と企業債の借入日の調整をすることによる支払利息の低減を図ります。				
年度別実施計画	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
	・定期預金の利息の獲得 ・企業債利息の低減	・定期預金の利息の獲得 ・企業債利息の低減	・定期預金の利息の獲得 ・企業債利息の低減	・定期預金の利息の獲得 ・企業債利息の低減	・定期預金の利息の獲得 ・企業債利息の低減
実施状況	A	A	A	A	
R 元年度実施内容	定期預金については、事業担当課との情報共有により資金の動きを詳細に分析した上で、可能な限り長期の預入を行いました。預入先の選定は、各金融機関から利率の見積を徴収し、経営の安全性が確認された中で最も高い利率を提示した金融機関としました。 また、企業債利息の低減を図るため、借入れの金利方式について検討を行いました。				
R 元年度目標設定	—	目標値		実績値	
		—		—	

⑥下水道使用料の検証・検討

取組項目	前年度決算に基づく水需要・料金収入・財務状況の確認・分析				
取組目的・内容	平成 27 年度に行った下水道使用料の見直し（改定）後の収入状況や財務状況の検証を行います。				
年度別実施計画	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
	確認・分析	確認・分析	確認・分析	確認・分析	確認・分析
実施状況	A	A	A	A	
R 元年度実施内容	メータ検針等に基づく調定汚水量及び下水道使用料について、業態別の分析を行うとともに、前年度の決算状況により財務状況の確認を行いました。なお、平成 30 年度の使用料収入について、使用料改定により 117,893 千円の財政効果がありました。				
R 元年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

取組項目	上下水道事業運営審議会への報告				
取組目的・内容	平成 27 年度に行った下水道使用料の見直し（改定）後の経営状況について、諮問機関である「上下水道事業運営審議会」へ報告を行い、適正な下水道使用料について検討していきます。				
年度別実施計画	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
	経営状況の報告	経営状況の報告	経営状況の報告	経営状況の報告	経営状況の報告
実施状況	C	A	A	A	
R 元年度実施内容	令和元年度に開催した上下水道事業運営審議会において、平成 30 年度の決算状況を説明し、平成 27 年度に行った使用料改定による財政効果及び、平成 23 年度から平成 26 年度まで続いた赤字について、平成 27 年度以降は黒字となっていることを報告しました。				
R 元年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

⑦災害復旧体制の強化

取組項目	災害時を想定とした訓練の実施				
取組目的・内容	地震などにより被災した下水道施設の短期間での復旧を可能とするために制定する「下水道BCP（業務継続計画）」に基づく防災訓練を実施し、復旧体制の強化を行います。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	・上下水道局防災訓練の実施 ・八千代市災害対応訓練の実施	・上下水道局防災訓練の実施 ・八千代市災害対応訓練の実施	・上下水道局防災訓練の実施 ・八千代市災害対応訓練の実施	・上下水道局防災訓練の実施 ・八千代市災害対応訓練の実施	・上下水道局防災訓練の実施 ・八千代市災害対応訓練の実施
実施状況	A	A	A	A	
R元年度実施内容	上下水道局防災訓練を令和元年7月に実施し、また、八千代市災害対応訓練を令和2年1月に実施しました。地震発生によるマンホールポンプの稼働停止や、水管橋からの汚水の漏水の発生を想定し、初動対応及び応急復旧訓練を実施しました。 また、令和2年1月に、千葉県主催により下水道BCPに基づいた連絡訓練を実施しました。				
R元年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

取組項目	下水道BCPの運用				
取組目的・内容	大規模な災害などで職員、庁舎、設備などに相当の被害を受けても、優先実施業務を中断させず、たとえ中断しても許容される時間内に復旧できるようにするため、「下水道BCP（業務継続計画）」を制定し、防災訓練などで判明した問題点について対策を検討したうえで、見直しを行っていきます。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	BCPの制定	内容の精査	内容の精査	内容の精査	内容の精査
実施状況	A	A	A	A	
R元年度実施内容	上下水道局の防災訓練等において下水道BCPに基づく初動対応訓練を行い、その内容について確認し、内容の精査を行いました。				
R元年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

⑧公共下水道事業の広報

取組項目	やちよ上下水道だよりの発行 ※前期実施計画（平成31年度版）で追加				
取組目的・内容	下水道は市民にとって最も身近なライフラインの一つであるため、各種計画の策定・実施状況、使用料に関することなどの重要事項や、下水道の重要性や適切な利用について、「やちよ上下水道だより」により広報を行います。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
実施状況				発行	発行
R元年度実施内容	令和元年6月1日と令和2年3月1日に「やちよ上下水道だより」を発行し、令和元年度に実施する主な事業、八千代1号幹線沿線地域の浸水被害軽減対策、下水道の詰まりの原因や詰まったときの対応方法、マンホールカードの配布について掲載しました。				
R元年度目標設定	発行回数		目標値	実績値	
			年2回	年2回	

2 基本方針 2 汚水の適正な処理

①汚水施設の整備拡充

取組項目	吉橋工業地域内における汚水管渠整備				
取組目的・内容	<p>本市においても、近い将来に人口減少が見込まれているため、下水道の基盤整備と料金収入のバランスを考慮して、効率的・効果的な汚水処理施設の整備を図ります。</p> <p>事業計画に基づき、令和 2 年度まで吉橋工業地域内の汚水管渠の整備を行います。</p>				
年度別実施計画	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
	汚水管渠築造工事	汚水管渠築造工事	汚水管渠築造工事	汚水管渠築造工事	汚水管渠築造工事(完了予定)
実施状況	B	B	B	A	
R 元年度実施内容	<p>吉橋処理分区において、以下のとおり汚水管渠築造工事を実施しました。</p> <p>【平成 30 年度からの繰越し分】</p> <p>推進 φ 200mm 延長 60.00m</p> <p>開削 φ 200mm 延長 435.87m 計 495.87m</p> <p>【令和元年度分】</p> <p>推進 φ 200mm 延長 82.56m</p> <p>開削 φ 200mm 延長 544.55m 計 627.11m</p>				
R 元年度目標設定	汚水管渠の整備延長		目標値	実績値	
			661m	1,122.98m	

②汚水施設の維持管理

取組項目	管渠・マンホールポンプの維持管理				
取組目的・内容	管渠やマンホールポンプの定期的な点検・清掃を行い、機能の保全を図ります。				
年度別実施計画	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
	点検・清掃	点検・清掃	点検・清掃	点検・清掃	点検・清掃
実施状況	A	A	A	A	
R 元年度実施内容	<p>汚水管・マンホールポンプの点検清掃について以下のとおり実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汚水管通常清掃：(昼間) 4,226m、(夜間) 7 作業 ・汚水管緊急清掃：(昼間) 13 作業、(夜間) 3 作業 ・マンホールポンプ：清掃 37 回、点検 4 回 				
R 元年度目標設定	汚水管渠の清掃延長		目標値	実績値	
			4,000m	4,226m	

取組項目	不明水対策				
取組目的・内容	汚水管渠に地下水などが流入するいわゆる「不明水」を減らすため、区域ごとに順次カメラ調査を実施し、管渠の破損などが確認された場合は補修を行います。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	・不明水調査(北部処理分区) ・不明水対策関連補修(萱田町処理分区)	・不明水調査(北部処理分区) ・不明水対策関連補修(萱田町処理分区・北部処理分区)	・不明水調査(北部処理分区) ・不明水対策関連補修(萱田町処理分区・北部処理分区)	・不明水調査(北部処理分区) ・不明水対策関連補修(北部処理分区)	・汚水流量調査(佐山処理分区) ・不明水対策関連補修(北部処理分区)
実施状況	B	B	B	A	
R元年度実施内容	北部処理分区において、以下のとおり不明水対策に関する事業を実施しました。 ・不明水調査(調査延長: 2,186m、取付管調査: 12箇所) ・内面補修工事				
R元年度目標設定	不明水調査延長		目標値	実績値	
			2,190m	2,186m	

取組項目	ポンプ場機械修繕				
取組目的・内容	老朽化する汚水中継ポンプ場の機械設備については、修繕計画に基づいて修繕を行います。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	北部汚水中継ポンプ場汚水ポンプ分解修繕				
実施状況	A	※	※	※	
R元年度実施内容	修繕計画とは別に、施設点検で異常が確認された箇所について、以下の修繕を実施しました。 【村上第2汚水中継ポンプ場】 ・力率計の交換修繕 【北部汚水中継ポンプ場】 ・給水ポンプの圧力スイッチの交換修繕 ・自家発電機動力設備の修繕 ・自家発電機充電設備の修繕 ※令和元年度の実施計画はありませんでしたが、本計画に関わる業務を上記のとおり実施しました。				
R元年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

③水質規制の指導・監督

取組項目	特定事業場の立入調査				
取組目的・内容	民間事業者などが新たに特定事業場を設置する場合の除害施設に関する指導や特定事業場の排水の水質について立入調査を行うことで、管渠内への有害物質や油類の流入を防止します。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	・立入調査 ・調査結果の通知	・立入調査 ・調査結果の通知	・立入調査 ・調査結果の通知	・立入調査 ・調査結果の通知	・立入調査 ・調査結果の通知
実施状況	A	A	A	A	
R元年度実施内容	特定事業場立入調査を実施し、排水基準を超過した事業場に対して、除害施設の適正な管理について指導を行いました。				
R元年度目標設定	年間延べ立入調査回数		目標値	実績値	
			10回	12回	

④未接続の解消

取組項目	未接続世帯への個別訪問				
取組目的・内容	公共下水道が整備された区域内における未接続世帯が減少することにより、河川などの環境保全が図られ、下水道使用料の増収にもつながります。未接続世帯に対して、水洗化による環境保全の効果について理解していただくことにより、公共下水道への接続を促します。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	訪問の実施	訪問の実施	訪問の実施	訪問の実施	訪問の実施
実施状況	A	A	A	A	
R元年度実施内容	すべての未接続世帯に対し個別訪問を実施しました。また、不在だった世帯については、現地調査、世帯状況調査等を実施しました。 なお、令和元年度は公共下水道への接続等により、23件の未接続解消となりました。				
R元年度目標設定	訪問件数		目標値	実績値	
			300件	560件	

3 基本方針3 浸水対策の強化

①雨水施設の整備拡充

取組項目	八千代1号幹線浸水対策（調整池の整備）				
取組目的・内容	平成25年に発生した台風26号による豪雨により、大きな被害がもたらされた八千代1号幹線沿線地域（大和田地区、八千代台北及び八千代台東地区の一部）の浸水対策のため、大和田南小学校の校庭の地下に調整池を整備します。				
年度別実施計画	H28年度 実施設計	H29年度 整備工事	H30年度 整備工事	R元年度 整備工事	R2年度
実施状況	A	A	B	B	
R元年度実施内容	平成29年度から実施していた調整池本体の築造工事は完了しましたが、平成30年度から実施している調整池への流入管布設工事については、令和2年度に繰越しました。				
R元年度目標設定	—		目標値 —	実績値 —	
B評価の理由	平成30年度から実施している調整池への流入管布設工事については、労務者が災害復旧に従事したことにより遅延が生じたため、令和2年度に繰越しました。 このため、実施状況をB評価としました。				

取組項目	八千代1号幹線浸水対策（管渠の整備）				
取組目的・内容	平成25年に発生した台風26号による豪雨により、大きな被害がもたらされた八千代1号幹線沿線地域（大和田地区、八千代台北及び八千代台東地区の一部）の浸水対策のため、新たに管渠を整備します。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度 実施設計	H30年度	R元年度 整備工事	R2年度 整備工事
実施状況	※	B	※	A	
R元年度実施内容	八千代1号幹線浸水対策管渠布設（シールド工法）工事【令和2年度までの継続事業】に着手し、立杭築造及びシールドマシン製作を行いました。				
R元年度目標設定	—		目標値 —	実績値 —	

取組項目	上高野地区雨水排水整備工事				
取組目的・内容	道路冠水などが多発する箇所（上高野 1196 番地先）について、排水施設の整備を進めていきます。				
年度別実施計画	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
	実施設計			整備工事	整備工事
実施状況	B	※	—	B	
R 元年度実施内容	上高野地区雨水排水整備工事【令和 2 年度までの継続事業】に着手しました。				
R 元年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	
B 評価の理由	<p>関連工事が遅延したことにより、工事の一部について一時中止が生じたことから、令和元年度に予定していた内容について、令和 2 年度に繰越しました。</p> <p>このため、実施状況を B 評価としました。</p>				

取組項目	萱田南第 1 排水区雨水排水整備				
取組目的・内容	道路冠水などが多発する箇所（大和田第 3 公園北）について、排水施設の整備を進めていきます。				
年度別実施計画	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
				実施設計	
実施状況	—	—	—	A	
R 元年度実施内容	萱田南第 1 排水区管渠実施設計について、業務を完了しました。				
R 元年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

取組項目	大和田新田地区雨水排水整備				
取組目的・内容	道路冠水などが多発する箇所（消防本部前）について、排水施設の整備を進めていきます。				
年度別実施計画	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
					実施設計
実施状況	—	—	—	—	
R 元年度実施内容	令和元年度実施計画なし				
R 元年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

取組項目	大和田地区雨水排水整備				
取組目的・内容	道路冠水などが多発する箇所(旧大和田公民館南・県道大和田停車場線)について、排水施設の整備を進めていきます。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
					基本設計(旧大和田公民館南)
実施状況	—	—	—	—	
R元年度実施内容	令和元年度実施計画なし				
R元年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

取組項目	花輪排水区雨水排水整備 ※前期実施計画平成30年度版で追加				
取組目的・内容	道路冠水などが多発する箇所(大和田新田930番地先)について、排水施設の整備を進めていきます。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
			実施設計		整備工事
実施状況			A	—	
R元年度実施内容	令和元年度実施計画なし				
R元年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

②雨水施設の維持管理

取組項目	水路の浚渫作業				
取組目的・内容	水路の浚渫作業を行い施設を適切に管理することで、大雨による浸水被害などを軽減します。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	八千代1号幹線の浚渫	高津団地内排水路の浚渫	八千代1号幹線の浚渫	高津団地内排水路の浚渫	八千代1号幹線の浚渫
実施状況	A	A	A	A	
R元年度実施内容	高津団地内排水水路の浚渫作業を1回実施しました。				
R元年度目標設定	浚渫作業回数		目標値	実績値	
			1回	1回	

取組項目	調整池の維持管理				
取組目的・内容	調整池放流口付近の清掃や調整池内の除草作業を実施し、施設を健全に保ちます。				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	・調整池の点検・清掃 ・調整池内の除草	・調整池の点検・清掃 ・調整池内の除草	・調整池の点検・清掃 ・調整池内の除草	・調整池の点検・清掃 ・調整池内の除草	・調整池の点検・清掃 ・調整池内の除草
実施状況	A	A	A	A	
R元年度実施内容	<p>以下のとおり調整池の維持管理を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託業者による調整池の清掃：1回 ・委託業者による調整池内の除草：1回 (草の繁茂状況を考慮し1回の実施としました。) ・職員による点検、除草作業：36回/年 				
R元年度目標設定	調整池の点検・清掃回数	目標値		実績値	
		36回/年		36回/年	
	調整池の除草作業回数	2回/年		1回/年	

③雨水流出抑制策の推進

取組項目	開発行為などによる民間事業における雨水の流出抑制				
取組目的・内容	<p>近年、局所的な集中豪雨や急速に進む都市化の進展に伴い、雨水排水施設の能力を上回る降雨による内水被害が発生しています。</p> <p>これらの負担を軽減し、内水被害を減少させるため、開発行為などによる民間事業において「八千代市雨水排水施設整備指導指針」に基づく協議・指導を行い、雨水の流出抑制を図っていきます。</p>				
年度別実施計画	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	協議・指導の実施	協議・指導の実施	協議・指導の実施	協議・指導の実施	協議・指導の実施
実施状況	A	A	A	A	
R元年度実施内容	開発事業事前協議において「八千代市雨水排水施設整備指導指針」に基づき、下水道計画における雨水排水施設の能力を超える事業地からの雨水流出について、雨水流出抑制施設の設置を行うよう協議・指導を行いました。				
R元年度目標設定	—	目標値		実績値	
		—		—	

**八千代市上下水道事業経営戦略
前期実施計画
令和元年度取組状況**

発行 八千代市上下水道局
編集 八千代市上下水道局 経営企画課
所在地 八千代市萱田町596-5
電話 047-483-6572 (直通)